レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成28年6月7日	使用開始日			
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	福永　睦	化学療法委員会承認年	平成　29 年　6 月
レジメン名	ザルトラップ＋FOLFIRI				
疾患名	大腸がん	適応の備考	CVポート		
適応分類	進行再発				
1コース日数	14　日間	総コース数	有効な限り コース	催吐性リスク	中等度
抗がん剤投与量・投与日	ザルトラップ4mg/Kg day1、イリノテカン180mg/㎡ day1、５－FU 400mg/㎡ day1、５－FU 2400mg/㎡ day1				

治療スケジュール ・ 投 与 日 程 (投 与 日 は ●)　(day)

投与順	ﾙｰﾄ・方法	薬 剤 名	投 与 量		投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
1	主ルート	生食20mL	1	本 / body		●													
	中心静脈注射																		
				/															
2	主ルート	生食100mL	1	本 / body															
	点滴静注	ザルトラップ	4	mg / Kg	60 分	●													
				/															
3	主ルート	生食250mL	1	本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ホスアプレピタント注150mg	1	本 / body		●													
				/															
4	主ルート	ﾊﾟﾛﾉｾﾄﾛﾝ注ﾊﾞｯｸﾞ0.75mg50mL	1	本 / body	30 分	●													
	中心静脈注射	ﾃﾞｷｻｰﾄ注射液1.65mg/0.5mL	3	本 / body		●													
						●													
				/															
5	主ルート	5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液500mL	1	本 / body	90 分	●													
	中心静脈注射	イリノテカン	180	mg / ㎡		●													
		Rp5とRp6を同時に投与開始する		/															
6	側管	5%ﾌﾞﾄﾞｳ糖液250mL	1	本 / body	2 時間	●													
	点滴静注	レボホリナート	200	mg / ㎡		●													
		Rp5とRp6を同時に投与開始する																	
7	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5 分	●													
	中心静脈注射	5-FU	400	mg / ㎡		●													
		点滴速度：全開で																	
8	主ルート	生食100mL	1	本 / body	46 時間	●													
	中心静脈注射	5-FU	2400	mg / ㎡		●													
		携帯型ﾃﾞｨｽﾎﾟｰｻﾞﾌﾞﾙ注入ﾎﾟﾝﾌﾟ																	
	希釈後の液量を総量140mLとなるよう調製																		

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。（例：Rp2とRp3を同時に投与開始する。）

【投与上の注意】

穿刺時、生食を使用し、ポートの通過を確認すること

Rp4の後に抗がん剤投与すること

Rp5とRp6を同時に投与開始する

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは血管痛が報告されているため、溶解には可能な限り生食250mLを使用すること(最低でも100mL以上)。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄは抗がん剤投与の1時間前に30分かけて点滴すること。

・ﾎｽｱﾌﾟﾚﾋﾟﾀﾝﾄの次に5-HT3受容体拮抗薬+デキサート注を投与して、その次に抗がん剤を投与すること。

ザルトラップ：投与時はインラインフィルター（０．２μｍ）を使用すること。

day1デキサート注は、3.3mgでも可